

2013－2014年度 保護者アンケートのおよびその結果

(目的)

第一回アンケートの目的は、センター運営方針を決定する情報を収集する事でした。

この為に保護者のセンターへの期待や各家庭での言語環境等に関するアンケートを行いました。

第二回アンケートの目的は、クラス別新カリキュラムの作成でした。

この為、現状クラスの学習状況を調査するアンケートを行いました。

(結果)

- **継承語としての日本語教育の重視**

保護者の期待は、書き（漢字など）、読みよりも、家庭では出来ない他者との会話を重視し、これを使って、日本の文化に触れて行く事でした。

まず会話、次に読み、最後に書きの優先順序となるという結果が出ています（読み書き学習希望はそれ程高いと優先順位になっていません）。これは、センター設立当初の目的の再確認となりました。

* 継承語：家庭使用言語で社会主要言語ではない言葉

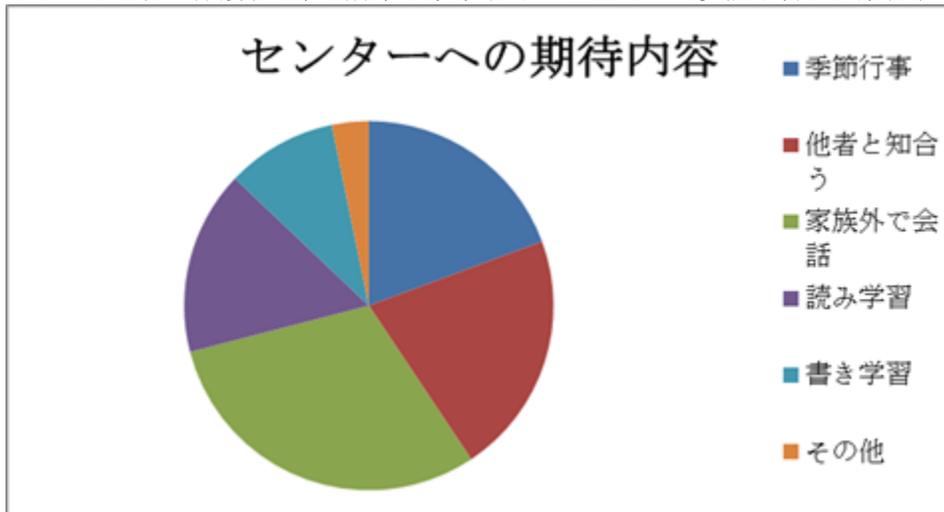
- **現状クラス学習現状の把握。**

会話は大丈夫であるが、読み書きは多少難しいという結果が出ています。これを踏まえた、クラス別新カリキュラムの作成が望まれます。

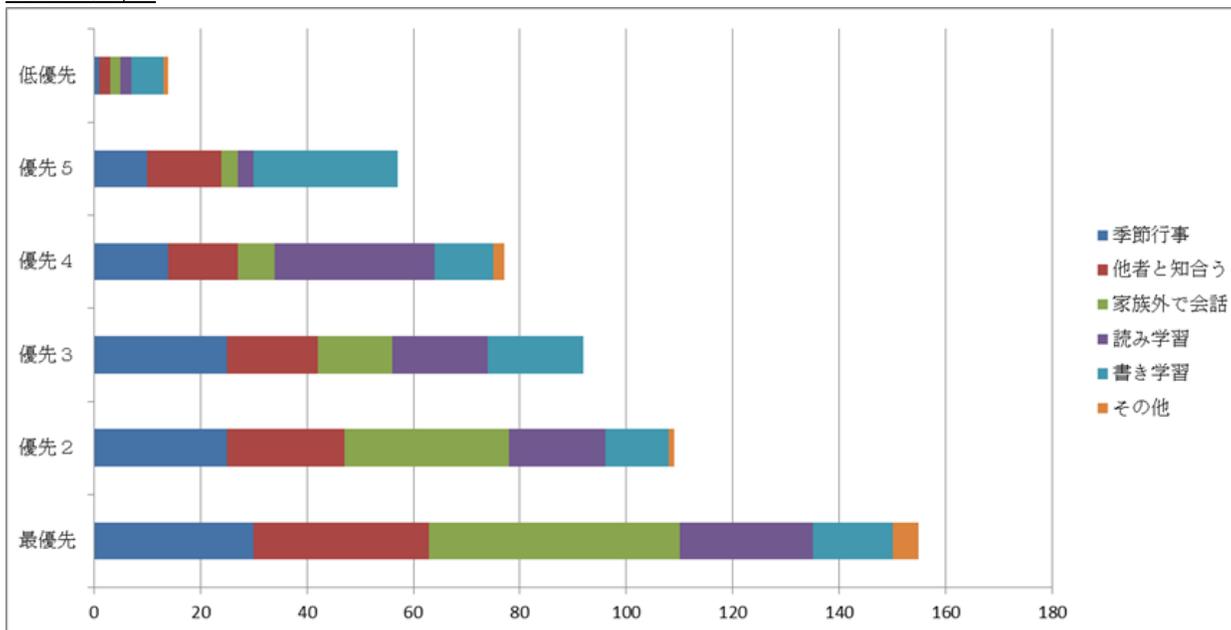
第一回アンケート

センターへの期待内容

73-74%の保護者は、会話、文化、行事を望んでいる。読み書きを期待する保護者約25%。

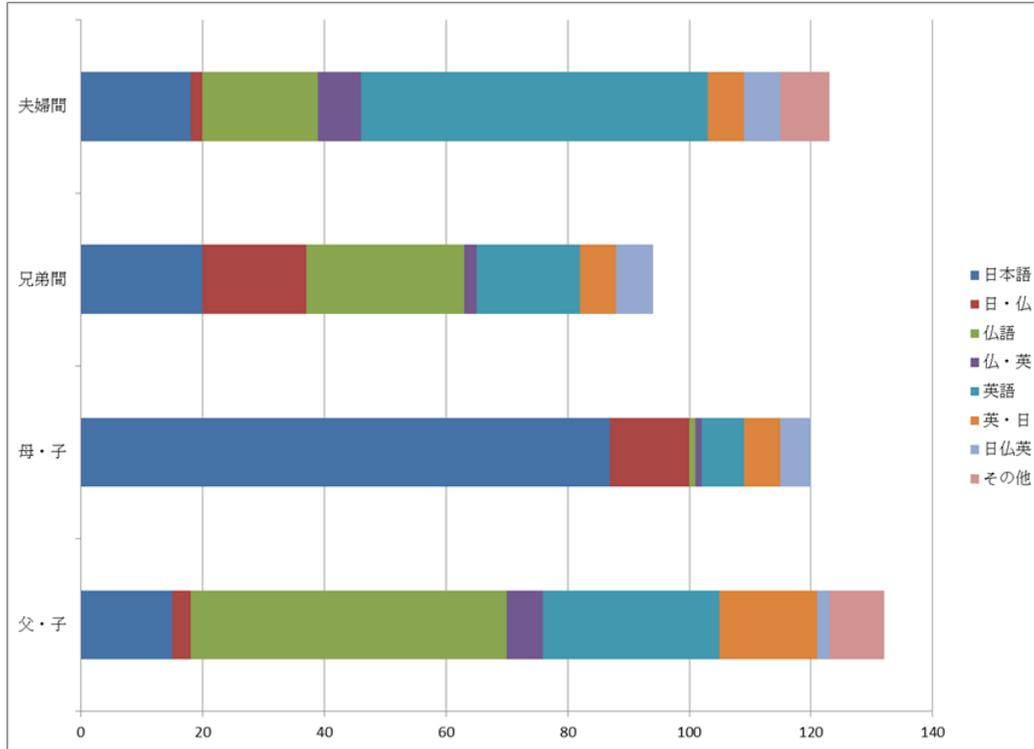


優先順位



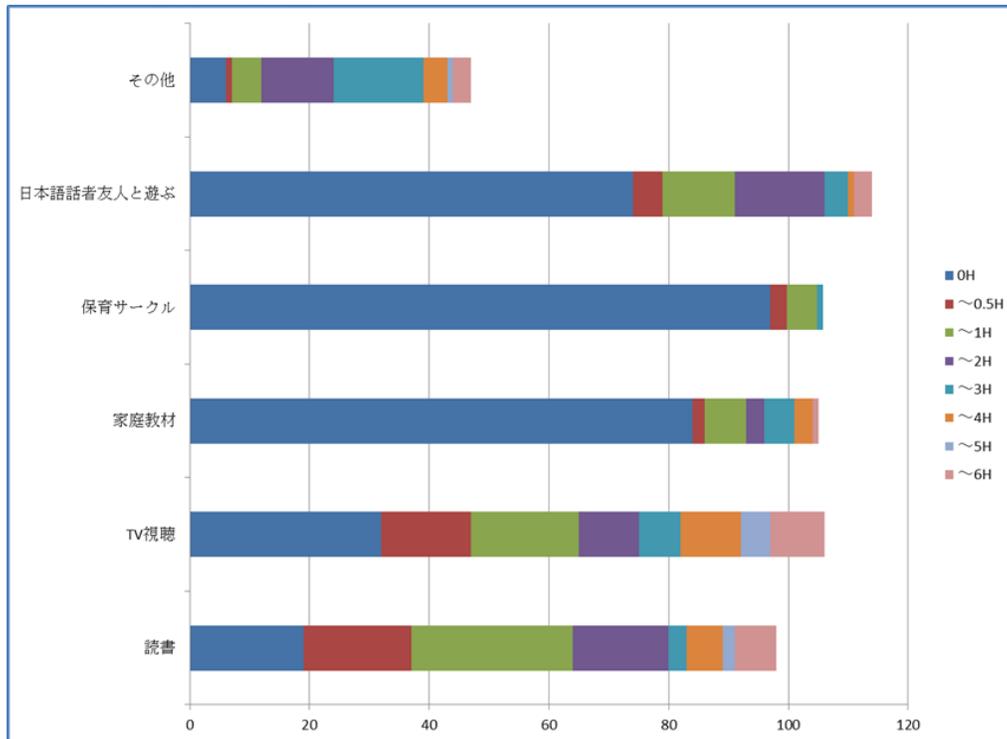
家庭での言語環境

夫婦間は、日本語、兄弟間は現地語（フランス語、英語）、親子間ではその親の母国語が主体と考えられる。
 グラフ下の数字は回答数

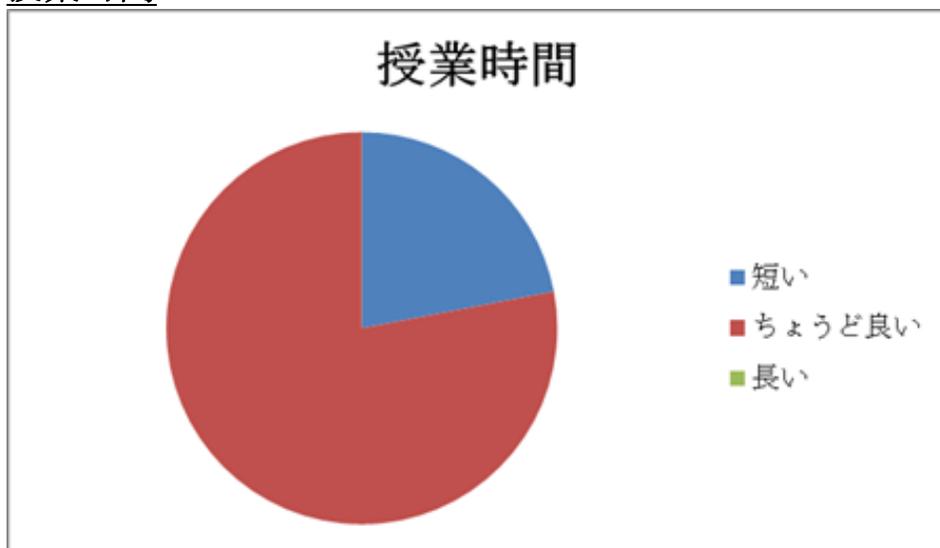


家庭での日本語教育環境

グラフ下の数字は回答数



授業時間



第二回アンケート

記入者総数：132名（未回収数：33部）

記入対象生徒在籍クラス：

幼児1 畑口先生	幼児1 小川先生	幼児2 岩本先生	幼児2 井上先生	幼児3 森先生	幼児3 井戸田先生	児童1 小山先生	児童1 山本先生
児童2	児童3	児童4	児童5	児童6	中高等部		

現状クラス内での生徒の現状

読みのスキル： 問題無く授業についていける 57
多少難しい点がある 54
かなり努力が必要 21

書きのスキル： 問題無く授業についていける 47
多少難しい点がある 58
かなり努力が必要 25

会話のスキル： 問題無く授業についていける 81
多少難しい点がある 43
かなり努力が必要 15

宿題プリントを生徒が自宅で行う際、

読みのスキル： 親が付かず一人でできるレベル 13
(文字読取力) 横で少し手をかける程度 74
大方保護者が手助けの必要なレベル 32
ほとんど親自身が仕上げる 5

書きのスキル： 親が付かず一人でできるレベル 20
横で少し手をかける程度 66
大方保護者が手助けの必要なレベル 38
ほとんど親自身が仕上げる 2

文章読解力： 親が付かず一人でできるレベル 16
横で少し手をかける程度 58
大方保護者が手助けの必要なレベル 33
ほとんど親自身が仕上げる 10

保護者、また生徒の希望するレベル

現状よりも、

読みのスキル： もう少しレベルアップ 27
ちょうどよい 96
もう少し簡単に 10

書きのスキル： もう少しレベルアップ 27
ちょうどよい 93
もう少し簡単に 13

会話のスキル： もう少しレベルアップ 29

ちょうどよい 100
もう少し簡単に 6

漢字学習について

センターにおいて、：

①児童 6 終了時までには触れてもらいたい「導入」範囲 (下記注釈参照)

小学校 1 年生 (80 字) 1
小学校 2 年生 (180 字/計 240 字) 5
小学校 3 年生 (200 字/計 440 字) 21
小学校 4 年生 (200 字/計 640 字) 39
小学校 5 年生 (185 字/計 825 字) 18
小学校 6 年生 (181 字/計 1006 字) 35

②児童 6 終了時までには「定着」してもらいたい範囲

小学校 1 年生 (80 字) 1
小学校 2 年生 (180 字/計 240 字) 5
小学校 3 年生 (200 字/計 440 字) 21
小学校 4 年生 (200 字/計 640 字) 39
小学校 5 年生 (185 字/計 825 字) 18
小学校 6 年生 (181 字/計 1006 字) 35

*注釈

導入—授業内で読み方書き方、また熟語等を説明後、ワークブックやノートに練習また宿題として出る。

授業内では携わるのみ

定着—学年内でテスト等を用いて習得。

その後、既習漢字は読めて（書けて）当たり前となる事を前提

③「定着」の定義とは：

漢字—文字—文字が個々に読めて書ける 5

(例：「空」はそら、クウ、カラと読めて書ける)

既習漢字を組み合わせさせて使いこなせる 8

(例：「火」「花」を使い「花火」と書ける、読める) 現在の使用国語教科書年度数は

妥当 55

妥当ではない 5：その場合の妥当年度数は？

現在教科書は使用していない 30

授業内で国語の教科書使用について

使用希望 81

必要ではない 15

他の教科も使用して欲しい 12

長期休暇中の宿題の必要性

各クラス教員の判断に任せる 90

センター全体で統一 30

上記回答で統一とされた方、必要な時期は（複数回答OK）

夏休み 48

冬休み 14

春休み 10

ご協力ありがとうございました。

改善委員一同